平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名　日本コークス工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3315　URL　http://www.n-coke.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 西尾　仁見
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役人事・総務部長　(氏名) 鍛治屋　和博　TEL 03-5560-1311

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	25,752	△11.6	2,326	248.9	2,144	337.3	1,268	279.5
25年3月期第1四半期	29,148	△5.9	666	△83.9	490	△88.0	334	△88.8

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　1,375百万円　(256.9%)　25年3月期第1四半期　385百万円　(△87.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	4.20	―
25年3月期第1四半期	1.11	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	118,031	40,949	34.6
25年3月期	118,045	40,479	34.2

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　40,839百万円　25年3月期　38,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	3.00	3.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,700	△2.1	3,700	61.6	3,200	77.5	1,900	90.3	6.30
通期	106,300	△5.6	7,300	13.4	6,000	14.7	3,100	2.3	10.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

上記第2四半期連結累計期間業績予想に関しては、第2四半期の原料炭価格やコークス販売価格の現時点の見込などから、前回(平成25年5月10日)公表した業績予想値を修正しております。また、通期業績予想に関しては、第3四半期以降の原料炭価格およびコークス販売価格が未定であることなどから、前回公表した予想値を変更しておりません。詳細は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	302,349,449 株	25年3月期	302,349,449 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	621,753 株	25年3月期	621,407 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	301,727,842 株	25年3月期1Q	301,819,276 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

（参考）

平成26年３月期の個別業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	49,300	△ 4.0	3,500	59.3	3,200	75.3	1,900	78.8	6.30
通期	94,300	△ 8.0	6,500	8.7	5,500	12.6	2,800	△ 1.4	9.28

※１．上記業績予想値は、前回（平成25年５月10日）公表した業績予想値から修正しております。
なお、通期業績予想値に関しては、前回から変更しておりません。
前回（平成25年５月10日）公表値　第２四半期（累計）　売上高　44,200百万円　営業利益　2,900百万円
経常利益　2,500百万円　当期純利益　1,400百万円

※２．業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する説明 …… 2
（２）連結財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産は持ち直し、企業収益が改善して設備投資は下げどまりつつあり、景気は回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期比で原料炭価格が下落したことに伴い製品価格が下落したことなどにより、当第１四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比33億９千５百万円減少の257億５千２百万円となり、利益面では、前第１四半期は、原料炭価格下落によりコークス価格が先行して下落したことなどによる利幅縮小がありましたが、当期はこれが収束し、更に当期においては原価削減効果などにより、連結営業利益は、前年同期比16億５千９百万円増加の23億２千６百万円、連結経常利益は、前年同期比16億５千４百万円増加の21億４千４百万円となりました。

なお、四半期純利益は、前述の理由のほか、法人税等調整額の影響により、当第１四半期連結累計期間は、前年同期比９億３千４百万円増加の12億６千８百万円となりました。

（セグメントの概況）

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比21億８千２百万円減少の167億３百万円、営業利益は、前年同期比15億２千４百万円増加の22億７千６百万円となりました。

燃料販売事業につきましては、売上高は、前年同期比14億８千４百万円減少の59億４千６百万円、営業利益は、前年同期比７百万円減少の４億１百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比１億１千６百万円増加の18億４千４百万円、営業利益は、４千２百万円（前年同期は１億２千４百万円の営業損失）となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比１億５千５百万円増加の12億５千７百万円、営業利益は、前年同期比４千７百万円減少の０百万円となりました。

なお、当社グループは、コークス事業の更なる競争力強化や、石炭販売をはじめとする非コークス部門の収益力強化による多面的な利益構造への転換を進めており、これらの施策に注力できる体制作りと、それぞれの部門の営業力をはじめとする機能強化を目的とした会社組織の変更を実施し、これに伴い、当第１四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち、前連結会計年度まで掲記していた「石炭・コークス関連事業」を、「コークス事業」および「燃料販売事業」に分割しております。

（２）連結財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ１千３百万円減少の1,180億３千１百万円となりました。増減の主なものは、原材料及び貯蔵品の増加13億６千６百万円、有形固定資産「その他」の増加４億５千６百万円、仕掛品の増加４億２千５百万円、現金及び預金の増加３億８千４百万円、受取手形及び売掛金の減少18億２千９百万円、機械装置及び運搬具の減少10億７百万円等であります。

当第１四半期連結会計期間末の負債は、770億８千２百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億８千３百万円減少となりました。増減の主なものは、短期借入金の増加６億８千５百万円、流動負債「その他」の増加６億２千１百万円、支払手形及び買掛金の減少14億７千５百万円、賞与引当金の減少３億５千２百万円等であります。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加などにより、４億７千万円増加の409億４千９百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月10日に公表した連結業績予想値は、「当社の中核であるコークス事業の原料炭の価格取り決め期間が、四半期単位となっているため、原料炭価格およびコークス販売価格ともに第１四半期価格水準に足下の価格変動リスクを一定程度織り込んで算定」として公表いたしました。

今回の第２四半期連結累計期間業績予想に関しては、第２四半期の原料炭価格やコークス販売価格の現時点での見込みなどから、売上高は17億円増加の547億円、営業利益は５億円増加の37億円、経常利益は６億円増加の32億円、当期純利益は５億円増加の19億円に修正いたしました。

通期業績予想に関しては、第３四半期以降の原料炭価格およびコークス販売価格が未定であることなどから、前回（平成25年５月10日）公表した予想値を変更しておりません。

第３四半期以降の原料炭価格およびコークス販売価格の見込みが判明し、通期業績予想に変更が生じた場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（当社役員退職慰労金制度の廃止および打切り支給）

当社は、役員等の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規定に基づく要支給額を計上しておりましたが、平成25年６月27日開催の第10回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止および打切り支給が決議されました。

同制度の廃止に伴い、在任中の役員等に対し、本制度廃止までの在任期間に対する役員退職慰労金を打切り支給することとし、その支給時期については、各役員等の退任時とすることにいたしました。

これにより、当社の役員等に対する役員退職慰労引当金は全額を取崩し、流動負債「その他」および固定負債「その他」に計上しております。

なお、一部の連結子会社は、役員退職慰労引当金を計上しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,787	4,172
受取手形及び売掛金	10,407	8,577
商品及び製品	7,489	7,724
仕掛品	548	973
原材料及び貯蔵品	9,299	10,666
その他	3,160	3,230
貸倒引当金	△18	△15
流動資産合計	34,675	35,328
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	66,973	67,290
減価償却累計額	△38,765	△40,089
機械装置及び運搬具（純額）	28,208	27,200
土地	39,637	39,610
その他	21,719	22,343
減価償却累計額	△13,575	△13,742
その他（純額）	8,144	8,600
有形固定資産合計	75,990	75,412
無形固定資産		
その他	563	572
無形固定資産合計	563	572
投資その他の資産		
その他	6,830	6,732
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	6,816	6,718
固定資産合計	83,370	82,702
資産合計	118,045	118,031

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,547	16,072
短期借入金	16,181	16,867
1年内償還予定の社債	14	14
未払法人税等	465	547
賞与引当金	713	361
関係会社整理損失引当金	522	521
その他	5,600	6,221
流動負債合計	41,044	40,605
固定負債		
社債	86	86
長期借入金	28,581	28,523
退職給付引当金	4,315	4,313
役員退職慰労引当金	160	49
環境対策引当金	3,019	3,019
その他	358	485
固定負債合計	36,521	36,476
負債合計	77,566	77,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	31,743	32,106
自己株式	△106	△106
株主資本合計	40,387	40,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	29
繰延ヘッジ損益	△135	△112
為替換算調整勘定	73	172
その他の包括利益累計額合計	△29	89
少数株主持分	122	109
純資産合計	40,479	40,949
負債純資産合計	118,045	118,031

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	29,148	25,752
売上原価	26,995	21,920
売上総利益	2,153	3,831
販売費及び一般管理費	1,486	1,505
営業利益	666	2,326
営業外収益		
受取配当金	12	121
その他	250	49
営業外収益合計	262	171
営業外費用		
支払利息	253	182
その他	185	170
営業外費用合計	439	353
経常利益	490	2,144
特別利益		
固定資産売却益	49	41
関係会社株式売却益	－	17
その他	153	－
特別利益合計	203	58
特別損失		
固定資産除却損	93	247
固定資産圧縮損	130	－
その他	74	9
特別損失合計	299	256
税金等調整前四半期純利益	394	1,947
法人税、住民税及び事業税	100	581
法人税等調整額	△32	109
法人税等合計	68	691
少数株主損益調整前四半期純利益	326	1,256
少数株主損失（△）	△8	△12
四半期純利益	334	1,268

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	326	1,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△2
繰延ヘッジ損益	△6	23
為替換算調整勘定	62	98
その他の包括利益合計	59	119
四半期包括利益	385	1,375
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	393	1,387
少数株主に係る四半期包括利益	△8	△12

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

１．前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計額	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	18,886	7,430	1,728	28,045	1,102	29,148	－	29,148
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	0	256	257	204	461	△461	－
計	18,886	7,431	1,984	28,303	1,306	29,609	△461	29,148
セグメント利益又は損失（△）	752	409	△124	1,037	48	1,085	△418	666

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△418百万円は、セグメント間取引消去６百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△425百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

（１）報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注１）	合計額	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	16,703	5,946	1,844	24,495	1,257	25,752	－	25,752
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	0	300	300	78	378	△378	－
計	16,703	5,947	2,144	24,795	1,335	26,131	△378	25,752
セグメント利益	2,276	401	42	2,720	0	2,721	△394	2,326

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△394百万円は、セグメント間取引消去４百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△398百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（２）報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループは、コークス事業の更なる競争力強化や、石炭販売をはじめとする非コークス部門の収益力強化による多面的な利益構造への転換を進めており、これらの施策に注力できる体制作りと、それぞれの部門の営業力をはじめとする機能強化を目的とした会社組織の変更を実施し、これに伴い、当第１四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち、前連結会計年度まで掲記していた「石炭・コークス関連事業」を、「コークス事業」および「燃料販売事業」に分割し、これらに従来から掲記している「総合エンジニアリング事業」を加えた３区分に変更しております。

なお、前第１四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。